

理系教員チームに鉄道の神様が宿る

ふちんかん

□ O先生初参加

今回はS主将の元同僚であるO先生が初参加です。相手のY主将とほぼ同い年の好青年であります。大教大出身で情報と数学の先生とのこと。O先生は「鉄道の知識はそれほど…」と謙遜していましたが、道中、S主将と互角に鉄道話で盛り上がっていたし、戦略面でも大いに貢献してくれました。このイベントだけでなくWOO全般の活動にご参加いただきたい超大物ルーキーだと思いました。

また今回のSチームは、理系・教員・大教大・メガネ・鉄道好き?というキーワードで抽出をかけたようなメンバーです。

□ まずは戦術マップ

例によってマクドで作戦会議。S主将がO先生への全体のルール説明をしつつ、戦術マップへの記載をリードしていきます。

一通り私とS主将が戦略の構想を披露してから、一人一カ所100点駅の設定をしました。そうして決まった100点駅は〔箕面〕・〔武庫川団地〕・〔御影〕の3駅。隣接駅情報から特定されにくく、ほどほどに遠い駅に設定しました。当初は〔北千里〕に100点駅を設定していましたが、御影に変更。結果的には矢野チームはどちらの駅も訪問したわけですが、前半戦で自由枠として100点（つまり150点）を取られなかったのは大きかったです。

0点駅も特定されにくい駅、ついでは取りに行きたくなるような駅に設定。〔宝塚〕・〔服部〕・〔甲陽園〕・〔河原町〕・〔西宮〕に設定。

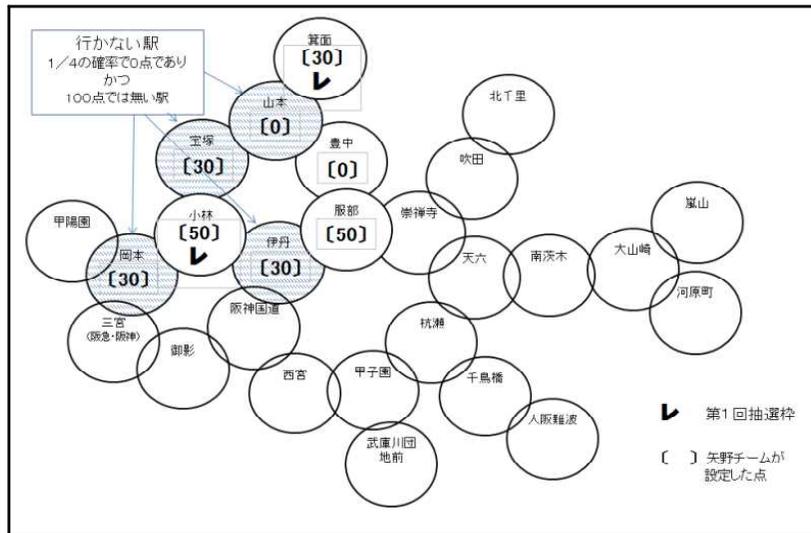
残りは交通至便な駅やラストで取りやすい梅田付近の駅に30点を配置しました。



全体的にはバランスを重視した堅い戦術マップになったと思います。WOO太郎電鉄は今回で3回目ですが、けっきょく抽選枠やイベントの種類という運で決まる部分が多いように思います。だがそれは両チームがそれなりに論理的な戦略と行動によって確実に戦うから、最後に運の部分がクローズアップされるわけで、やはり最初に行う戦術マップへの記載というものは、自分たちで決めることができる戦略的行動であり大切なものです。

□ さあ！最初の目的地へ

さあできることはやって後は運を天に任せる…最初の抽選枠はJとZ→〔小林〕と〔箕面〕。なかなか近くて良いではないですか。Yチームも〔小林〕を選んでおり、呉越同舟か思いましたが、どうやら避けられたようです。また隣接駅情報として100点駅なし・0点駅2個（後に1個に訂正）。この情報によって、北西部にはたいした得点は隠されていないということが判明しました。



はじめは自由枠を取らないでどんどん抽選枠を開き、隣接駅情報を得ようという戦略も考えました。しかし、もっと長丁場ならともかく、8時間という限られた時間なら、ついでで取れるような近くの自由枠なら取っていった方が良いということになりました。ちなみに抽選枠の期待値が 38.5 点に対し、自由枠の期待値は 51.9 点です。

□ 指令書をもらい忘れるも大事に至らず

○先生が神戸線の特急の発車前に気づきました。私もS主将がすっかり忘れていたことを…すばらしい若者です。さすが大物ルーキーです。

幸い王様とは連絡が取れましたので、初回の指令はメールで貰うことにしました。

最初の目的地〔小林〕の指令は駅チカの大型商業施設名を答える問題。ネットの地図ソフトを使うことは禁止されていますが、人に聞いたり看板を探すことは自由なので、今回は駅内の周辺地図や看板などで確認が取れました。カンタンでしたね。

そして宝塚線まわりの王様と宝塚駅で合流。無事指令書を受け取りました。

続いて〔箕面〕へ。今津北線・箕面線と行き先表示板を掲げた古いタイプの電車に乗りつつ、のんびり旅。ですが車内では相手チームの報告メールから王様の指令を読むことに夢中です。こちらの得点は誤差含みの中間発表でしか知りようがないので、これから先に向かうかもしれない駅の情報を得ることはとても重要です。

ちなみにYチームは最初の目的地〔天六〕を取った後、なぜか自由枠で〔北千里〕も取っています。〔吹田〕ではなく〔北千里〕？どちらも得点が判明していない駅ですが、わざわざ遠くの〔北千里〕を選んだ？行きにくいところに高得点を設定しているのでしょうか。当初の 100 点駅のままだったら危ないところでした。

報告時間と電車の所要時間から〔天六〕〔北千里〕ともほとんど時間がかかっていないことが分かりました。こういった情報が貴重なのです。

さて、箕面は「イベント無効権」のゲットであっさり終了。ここも駅の外へ出ることなく終わりました。

□ 最初の自由枠、、、は電車に決めてもらおう

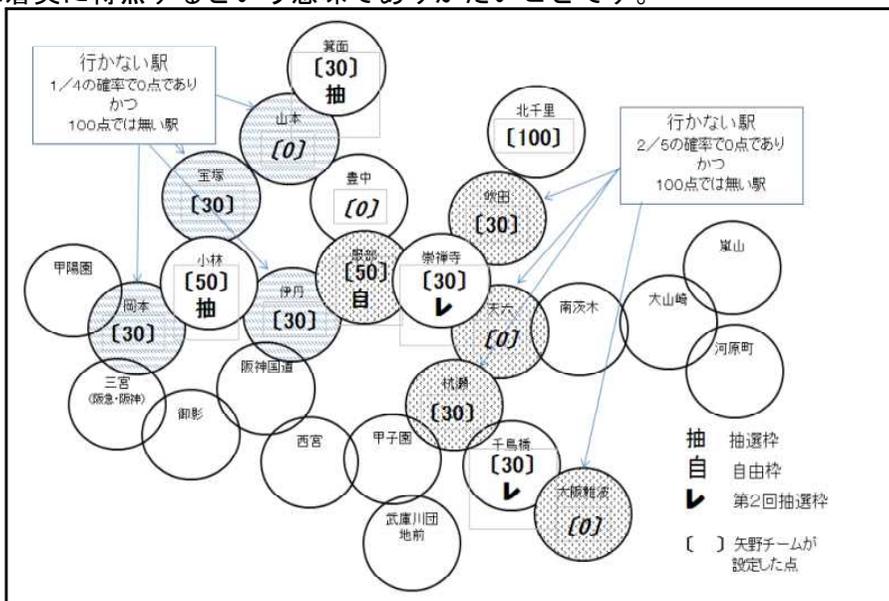
ここは勝負の分かれ目となった部分です。自由枠を取りに行くということは〔小林〕から〔箕面〕までのあいだに決まったのですが、どこに行くかが決まっていませんでした。〔宝塚〕や〔山本〕は0点駅である可能性があるため除外。となると宝塚線の帰り道である〔豊中〕か〔服部〕です。情報が無いという意味では同等ですし、梅田からの時間距離という点でも同等です。正直どっちでも良い感じです。私は「いぶきまで歩け」とかいう指令がありそうだったので〔服部〕はイヤな感じがしましたが（実際その通りだったし）、S主将が「次に乗る電車で決めよう」と提案。決め手がない以上、電車で決めるというのはとてもテツらしくて良いと思いました。で、7000系以降の新型車なら〔豊中〕、旧型車なら〔服部〕と決めました。そして石橋駅にやってきた列車は…旧型車の急行です…微妙。この急行に乗れば〔豊中〕に行けるのに…。一本見逃して、次の普通で〔服部〕へ向かいます。私はこの選択が、勝敗を決する要因に（というか負けた原因に）ならなければ良いが、という思いがよぎりましたが、全くの杞憂で結果的にはこの選択は正解だったのです。〔豊中〕を選んだら-30点、〔服部〕は+75点。その差100点以上。さすが鉄道の神様のお導きです。

〔服部〕の指令は「いぶきへ行ってWOO最新号を取って来る」です。初参加の〇先生がいることを見越しているかのような指令。鉄道の神様と合わせて王様にも畏敬の念を感じずにはいられません。



□ 第2ターン 先に自由枠ゲットが奏功

第2ターンはの抽選枠はFとP→〔崇禅寺〕と〔千鳥橋〕です。隣接駅情報として100点駅なし・0点駅2個。またも100点駅情報がありませんが、0点駅が隠されている可能性がある範囲がじわじわと広がってきました。特定はできませんが〔行かない駅〕が増えたことは着実に得点するという意味でありがたいことです。



第2ターンの自由枠は早々に〔北千里〕に決まりました。〔北千里〕を選んだ理由は、先述のYチームの終了時刻からイベントの軽さが予測されたからです。また後から抽選で選んでしまうとたいへん時間のかかる場所なので、先につぶしておくという理由もあります。

さてここで2番目の勝負の分かれ目です。先に行くのは自由枠〔北千里〕か抽選枠「崇禪寺」か。我々はまたも鉄道の神様に進路を託すことにしました。十三で最初に来た電車が崇禪寺に止まらない急行系や北千里行きなら〔北千里〕、高槻市行き普通なら〔崇禪寺〕。まあ北千里行きが来ましたので、普通に〔北千里〕へ行きました。

〔北千里〕のイベントは「任意ワープ権」のゲットでした。

これは後で分かったことですが〔北千里〕は150点駅だったのです。ラッキーです。もし〔崇禪寺〕が先だったとしたら、強制ワープで〔大阪難波〕へ行かされ、しかも〔大阪難波〕を自由枠で取ってしまう(-30点)ところでした。〔北千里〕と〔大阪難波〕の得点差は実に180点。とてつもなく大きな差です。さすがに鉄道の神様のお導きです。

□ W00太郎電鉄の惨劇！ 血糊で騒然（千鳥橋）の前に（崇禪寺）です

崇禪寺のホームに降り立つと、なにやら制服のおじさんたちの人だかりが。警官です。ホーム前方へ移動する際、横を通りましたが、ホームの線路寄りに真っ赤な血だまりがありました。おじさんたちは特に立ち入り禁止のロープを張ることもなく現場検証をしていました。後でO先生が調べたところ、接触事故があったとのこと。電車に接触したか風圧かで倒れた方がホームで頭を打ったらしく、命に別状はない模様です。

さて〔崇禪寺〕のイベントは〔大阪難波〕への強制ワープカードです。幸い次の目的地への近道ともいえるワープカードでたいへんありがたかったです。

ちなみに前回は〔崇禪寺〕のイベントは「西九条駅への強制ワープ」でした。Y主将覚えてますか？やはり過去問は頭に入れておく必要がありますね、後になって思いました。

□ 駅ナカでランチ・中間発表



梅田まで戻り、強制ワープカードのおかげで地下鉄でなんばまで移動。〔大阪難波〕駅内の生パスタ屋で優雅に昼食です。ここで中間発表。思ったより得点が高いことに喜びました。おそらくどこかで100点駅をゲットしたのだと分かりました。

すべては鉄道の神様のお導きのおかげです。

そして午後の部も、優位に立っているからこそ、失点しない、すなわち自由枠で0点駅を取らないという安定戦略に徹することが肝心だと確認しました。

一方で、劣勢のYチームが午後に、0点と100点駅が分かっているなら全部取りに行くという戦略を取ったことも目から鱗が落ちる思いがしました。なるほど、3駅のうち。0点と100点があるなら、途中経過から考えて100点を取っていない可能性が高いわけで、それを取りに行くというのは実に理にかなっているわけですね。

さあ、我々も最後まで気を抜かずに、鉄道の神様の機嫌を損ねないように行動せねば…。